

## ■バイオガスプラント施設概要

項目1	項目2	計画値	備考1	備考2
投入量	ふん尿	10.0t/日		
	食品残さ	~3.0t/日		
	グリセリン	~0.3t/日		
発生量	消化液	4,800t/年		
	バイオガス	695m <sup>3</sup> /日	精製後=発生量×60%	精製後:417m <sup>3</sup> /日 417m <sup>3</sup> /日×5,700kcal÷860=2,764KW/h
	"	250m <sup>3</sup> /日	ふん尿	精製後:150m <sup>3</sup> /日/994KW/h
	"	~205m <sup>3</sup> /日	食品残さ	精製後:123m <sup>3</sup> /日/815KW/h
	"	240m <sup>3</sup> /日	グリセリン(1%)	精製後:144m <sup>3</sup> /日/954KW/h
	"	250m <sup>3</sup> /日	プラント維持	精製後:150m <sup>3</sup> /日/994KW/h
	"	445m <sup>3</sup> /日	余剰	精製後:267m <sup>3</sup> /日/1,770KW/h
施設敷地		12,370m <sup>2</sup>	全体	
		8,630m <sup>2</sup>	施設	
	建築面積	199.71m <sup>2</sup>		
	標高	170m		
発酵槽		435m <sup>3</sup>	φ10m×H8m	中温(40℃)30日間滞留 湿式:水分含率80%以上 嫌気性
生原料槽		36.9m <sup>3</sup>		
原料槽		30.0m <sup>3</sup>		
殺菌槽		6.2m <sup>3</sup>		55℃×5h(70℃×1h)
加水槽		21.0m <sup>3</sup>		
消化液タンク	耕作用	1043.8m <sup>3</sup>	φ15.370m×H5.626m	
消化液タンク	草地用	2013.5m <sup>3</sup>	φ21.347m×H5.626m	
ガスバッグ		80.0m <sup>3</sup>	φ6.0m×H8.0m	
ガスフレア		10~30m <sup>3</sup> /h	処理能力	
消化液ピット		7.6m <sup>3</sup>	一次、二次ともに	
グリセリタンク		4,000未満ℓ	乙4 第3石油類	30℃保温
BDFタンク		2,000未満ℓ	乙4 第2石油類	30℃保温
温水ボイラ		105kw	熱出力	
発電機		50kw	発電出力	
トラックスケール		25t		

## ■付随事項

機械棟	木造、199m <sup>2</sup>
発酵槽発生硫化水素	2,200ppm
メタンガス(CH <sub>4</sub> )	二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )の21倍の温室効果
都市ガス	12A相当

## ■所在地

エネコープバイオガスプラントエネルギー技術開発研究所  
 亀田郡七飯町字西大沼435-2 アクセス:大沼公園I. Cより車で約5分